

東日本での見ものは？？

2015-4-26

京都市 福原浩一

ご挨拶、普通なら4月のタイミングですが、この度、6月から東京に転勤します。そのためこれから数年間は、メール会員として参加することになります。これまで30年余り京都近辺の異動のみで、自宅を離れることはなかったのですが、あと残り2年を迎えちょうど定年までの期間、関西から離れることは、良い機会かと思います。

そこで、東日本での天文関連の見ものを探してみました。

＜東日本：見もの調査＞

見もの	場所	説明
八ヶ岳 スターウォッチング	長野、野辺山	言わずと知れた電波望遠鏡の拠点、きれいな星空も望めそう。
清里高原	山梨	八ヶ岳にも近く、星の観望にはもってこいの場所。
白神山地	青森	星と森のロマンチックな天文台「銀河」があるそう。かなり遠いが、行ってみたい。
葛飾区 天文博物館	東京都	いろいろな展示があるみたい。ティコ・ブラーエの大アーミラリー(?)の展示があると書いてある。どんなものか？ 他にプラネタリウムや太陽活動が観られるようだ。
JAXA つくば宇宙センタ	茨城、つくば	JAXAの宇宙展示施設がある。常設やイベント展示があるので、年中楽しめそう。周辺の研究機関の展示を合わせて巡るツアーがあるみたい。
JAXA 相模原キャンパス	横浜、相模原	JAXA の研究拠点で、夏ごろに公開日がある模様、ときどきアナウンスをチェックしたい。
岩手県陸前高田市・気仙隕石の碑	岩手県、陸前高田	江戸時代末期、嘉永三年六月十三日の朝、大音響と共に陸前高田市気仙町長円寺の境内に巨大な隕石が落下し、人々を驚かせました。コンドライトと呼ばれる石質隕石としては、日本で最大の隕石です。当時の人々は、この天から降ってきた石が、養蚕に役立つとか、病に効くなどと思い、かなりの量が削り取られてしまいました。 その一部は、海外にも流出したため、気仙隕石は世界中の博物館に展示されています。このうち、最大のものは、国立科学博物館に展示されており、重さは106kgあります。(検索HPより抜粋)
富谷隕石	宮城県、仙台市	仙台市天文台に展示されているみたい。 東北復興の様子も観てみたいので、ぐるっと旅してみたい。

しばらくの間、顔を見せなくなりますが、自分の☆活動は続けるつもりです。折に触れ紹介したいと思います。

以上